

②患者さんから、家での様子や体調の変化などを聞かせて頂きます。

③必要な処置や薬剤の投与を行います。

④その他、先生へ患者さん個々の情報を伝え、診察のお手伝いをしたり、また、必要な方には食事や水分などのお話をさせて頂いたりしています。

透析終了時

シャントの止血状態、血圧、表情、顔色などから、安全に帰宅できる状態であるか確認・判断をします。

終了後のカンファレンス



日々変化する、患者さんの状態・変化を把握し、透析方法やドライウエイトの評価を行ない、その時々
の最善な透析療法を提供できるように話し合いを
行います。

以上、簡単ですが、今回は私たち看護師の役割についてお話させて頂きました。今後、更に知識を深め、技術の向上を目指し、日々努力をしていきたいと思っています。

最後に、透析医療は、単純に毎日の透析を安全に行なえば良いというだけではありません。

私たち透析看護師は、患者さんが、すこやかな日常生活を過ごしていただける様にお手伝いをしていくことが重要な役割です。

押し付けの一方通行の看護ではなく、皆様から得た情報の中で、どのようなお手伝いが必要なのか、問題点を考えながら、今後の看護の方向性を決めていく必要があります。その為に、皆様と会話を通して情報を得ること、コミュニケーションを図ること。これも大事な看護の一つと考えています。忙しそうに見えるかもしれませんが、いつでも気軽に声を掛けしていただくと、嬉しいです。

